

会 議 録

会 議 名 (審議会等名)		令和元年度 第4回 川西市社会教育委員の会	
事 務 局 (担 当 課)		教育推進部 社会教育課 (内線 3422)	
開 催 日 時		令和元年9月27日(金) 10時00分～12 時00分	
開 催 場 所		川西市役所 B01会議室	
出 席 者	委 員	野崎議長、住友副議長、田中委員、米田委員、細見委員、塩谷委員、 玉邑委員 丸山委員 計8名	
	そ の 他		
	事 務 局	若生教育推進部長、中西教育推進部副部長、大屋敷社会教育課長、 田中社会教育課主幹、藤井川西公民館長、 計5名	
傍聴の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数
傍聴不可・一部 不可の場合は、その理由			
会 議 次 第		1. 開 会 2. 前回会議録の承認 3. 報告事項 (1) 各協議会等の会議報告について (2) 生涯学習短期大学レフネック来年度開講学科依頼状況について (3) 全国社会教育研究大会(兵庫大会)について (4) その他 4. 議題 (1) 令和元年度年間研究テーマについて 「公民館の役割について～今、何が求められているのか～」 ワーク実施 5. その他	
会議結果		別紙のとおり	

審 議 経 過

NO.1

議長	<p>本日は、お忙しい中ご出席いただきまして、ありがとうございます。それでは、ただ今から、令和元年度 第4回 川西市社会教育委員の会を開会します。はじめに、本日の委員の出欠についてですが、川口委員、黒山委員が欠席です。I委員より明峰高校の体育祭出席のため、遅れてこれると申し出がございました。また、事務局は中央図書館長が欠席です。それでは、開会にあたり、教育委員会教育推進部長からご挨拶をお願いしたいと思います。</p>
教育推進部長	<p>(挨拶)</p>
議長	<p>それでは議事に入らせていただきます。次第2 前回会議録の承認につきまして、事務局の方から報告をお願いします。</p>
事務局	<p>(説明)</p>
議長	<p>説明は終わりました。ただ今のご説明について、何かご質問等はございませんか。特に(他に)ご質問もないようなので、前回の会議録をご承認いただいたものといたします。次に、3の報告事項についてです。(1)各協議会の会議報告について、ご就任いただいております協議会で前回の委員の会から今日までの間に開催された協議会がございましたら、報告をお願いします。</p> <p>阪神北地区社会教育委員協議会の研修会については、委員のみなさんもご出席していただきましたので、詳細な報告はいたしません。4市1町から多くの委員のみなさまにお越しいただき京都大学名誉教授の上杉先生にご講義をしていただきました。キセラの川西公民館の見学も行い、良い研修会ができたのではないかと思います。ありがとうございました。</p> <p>次に、報告の(2)生涯学習短期大学レフネック来年度開講学科依頼状況について事務局より報告をお願いします。</p>
事務局	<p>(説明)</p>
議長	<p>ただ今の報告について、何かご質問等はございませんか。</p> <p>なければ、次に移らせていただきます。報告の(3)全国社会教育研究大会(兵庫大会)について事務局より報告をお願いします。</p>
事務局	<p>(説明)</p>
議長	<p>ただ今の報告について、何かご質問等はございませんか。</p>
B委員	<p>24日はどこかに集合していきますか。</p>
議長	<p>どこかに集合はするべきかと思います。事務局は後日調整をお願いします。</p>

審 議 経 過

NO.2

事務局	<p>他に、質問がなければ次に移らせていただきます。報告の(4)その他ですが委員のみなさん、事務局から何かございますか。</p> <p>なければ、次第の4 議題に移らせていただきます。(1)公民館の役割について ~今、何が求められているのか~を議題といたします。前回よりワークを進めながら意見交換を行っております。本日の流れについて、事務局より説明をお願いします。</p> <p style="text-align: center;">(説 明)</p>
議長	<p>それでは、席を移動していただき、各グループでのワークをお願いします。</p> <p style="text-align: center;">(ワ ー ク 実 施)</p>
事務局	<p>時間となりましたので、ワークはここで終了させていただきます。次に各グループより発表をお願いします。</p>
議長	<p>前回の報告書をベースに出して話し合いを行いました。前回で意見は出し尽くしているということで、これ以上の意見は出てこない状況です。私の個人的な見解も含めてですが、川西市の公民館はレベルが高いと思います。つまり、中央館しかない市と比べると、気楽に公民館へ行ける度合いは高いということです。イベントが無いと行かない、サークルが無いと行かないということではなく、子ども達も高齢者の方も、時間帯によってずれがあるにしろ、わりと来られている状態ではないかという話でした。</p> <p>ただ、やはり公民館の役割として「つなぐ」と「学ぶ」という言葉はキーワードになると思います。つなぐという役割ですが、少子化と聞いていますが、川西市は他市と比較しても、流入人口は多い方ではないかと思っています。多くの女性は結婚をきっかけに別の地域へ転入し、子育てをするわけです。町の中に初めて来て、孤立しているお母さん達に公民館へ来てもらって、つないでいくということです。つまり、公民館はきっかけの場ということです。</p> <p>公民館へはいろいろな来館理由があります。行政センター機能を求めて来た人もいればサークルに来た人、講座に来た人もいると思いますが、そういった方々をサークルなどの利用者の場の中にまずはつなぐということ、そのために必要な講座やイベントを企画し、公民館の活動の中に取り込んでいくこと、そしてそのサークルの中でつないでいくということが大切という話をしました。</p> <p>もうひとつはサークル同士をつなぐということですね。子育てサークルに対しては、高齢者グループで昔遊びとかできる人がいたらつなぐ、読み聞かせのグループがいたら読み聞かせをきっかけとして子ども達とつなぐというのがコーディネートです。公民館の職員は各グループのことを知っています。サークル同士はお互いのことはあまり知らないの、情報を把握しているという強み</p>

<p>A委員</p>	<p>を生かし、サークル同士の人間関係をつなぐためのキーステーションの役割を果たすことが大切ではないかという話をしました。</p> <p>こちらは、公民館はいろいろな講座を公民館発信でやっていますが、その講座で育った人が、新たに公民館で講座を行う講師になれないかという話をしました。高齢者の方のニーズに目を向け、その人たちが気楽に来れる講座、あるいはその方々が育っていく講座みたいなものができるという話ではないかという話でした。</p> <p>公民館の職員さんにだけいろいろとやって欲しいという話になると、公民館は人目的にも、予算的にもしんどいと思います。現状の中で運営をしていくためには、公民館講座やレフネックで学んだ方々が公民館に集まり、さらに新たな講座を生んでいくという連携がうまれると、継続したものになるのではないかという話をしました。</p>
<p>事務局</p>	<p>それではこれを土台に、全体協議をお願いします。</p>
<p>議長</p>	<p>今のお話は、公民館の生命線とは何かという話だったと思います。公民館とコミュニティセンターとの違いは、職員が配置されており、情報を把握しているということ、そしてコーディネーターとして、公民館職員がその情報をどう使うかということだと感じています。つなぐというのをキーワードに話しましたが、今の川西市の公民館の現状として、これがどの程度達成できているかということ。事務局、そこはいかがでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>登録グループに入りたいという方をグループにつなぐことは日常的に行っています。講座の受講が終わった方々がサークルを作りたいと相談に来られ、登録グループになっていただくということもやっています。ただ、登録グループがコラボして何かをするということはありません。講師の方が同じ方なので、一緒にやっているということはありません。子どもたちと高齢の方のグループをつないでいるというのは、正直無いに等しいと思います。読み聞かせのグループの方々が子どもたちに読み聞かせをしているというのはありますが、それ以上の発展はあまりしていないというのが現状です。</p>
<p>議長</p>	<p>まず、そこまでとおっしゃってもレベルは非常に高いと思います。講座を企画しグループに案内できる、もしくはグループができるところまで行っています。正直、他市でもそこまで手を入れていけているところは少なくなっていると感じています。そこはきめ細かくできているのではないのでしょうか。レフネックも学習後にグループができているんですね。</p>
<p>事務局</p>	<p>レフネックは卒業した学年によっては、文化系のグループなどを作っておられます。歴史などは人気があります。川西公民館ではなく他の所でも作っておられるようです。</p>

審 議 経 過

NO.4

議長	<p>そういうことも含めて、川西市はしっかりされていると思います。ただ、レフネックは完全に趣味のグループで集まるということで地域とは関係ないと思います。</p>
G委員	<p>川西市の公民館を地域の社会教育施設としての面と、行政センター機能があるという面を見たとき、今の公民館の人員配置などから考えると、職員のみなさんはとてもがんばっておられると思っています。ただ、公民館の役割について我々や市民はもっと上位のところをついつい求めがちになっており、高齢者支援や児童支援など、多くの点でいろいろな要求をすることに対して各公民館は苦勞されていると思います。</p> <p>特に気楽に行ける公民館という点では、公民館の中の雰囲気、職員の雰囲気というのがとても大切だと思います。そのためには何が重要かということ公民館の職員一人ひとりが大変さの中でも、自覚を持ってがんばっていこうという気持ちやチームで協力していこうという想いを引き出すことです。そのために何が大事かということ、やはり館長がどれだけリーダーシップを持って職員をまとめていけるかだと思います。</p> <p>阪神北地区の研修会の際、宝塚市の方が公民館の指定管理について質問をされていました。できれば社会教育の理念を持った正規職員のみなさんが運営をするのが理想的ということをおっしゃられていましたが、川西市の地区公民館はそういう形が取れているか、職員たちはそれだけシビアな目で業務を行っておられるかということ少し疑問だと思います。</p> <p>学校は地域との連携を大切にしているイメージがありますが公民館はいかがでしょう。公民館も年に1、2度は地域のコミュニティやグループの代表者から意見を聞くような場を設けてもいいのではないかと思います。決して、これをして、あれをしてというような要望会のようなものになってしまうはいけないと思いますが、ただその地域の公民館のことは地域の方が一番よくご存知だと思うので、地域の方の声を聞けるような場が必要ではないかと考えます。</p>
議長	<p>職員の資質向上という話は難しいところがありますが、社会教育は人なりというのはずっと言われています。専門職員がどれだけ力量を持って住民に寄り添って、学校教育ではなく社会教育の視点でつなく間接支援のセンスを持った人をどれだけ作るのかというのが大事であるということです。行政側の話になりますが、職員の配置、職員の研修というのは舞台裏の一番真ん中にあるということです。</p> <p>あとは施設評価です。学校評価はもうずっと評価されていると思いますが、社会教育施設の評価はどうかという話です。社会教育法上は努力規定で行うことになっています。他の委員の方は、ご意見いかがでしょうか。</p>
I委員	<p>私は、公民館は地域の人がつながる場の提供を行う施設だと思います。私は公民館の活動に関わっているわけではないですが、もし公民館が無いとなにか</p>

	<p>学びたいと思った時に、自分でお店や学校を探して申し込み、お金を払って川西能勢口や梅田などに行かなければいけないというのは、非常に労力がいるように感じます。地域に公民館があり、そこにグループがあれば、そこに行って知り合いになったり、顔見知りになったりすることができます。</p> <p>ただ、公民館職員の方々だけでは、あれもこれもはできないということを理解する必要はあると思います。コミュニティや自治会の方々は本当に忙しく活動をされていますが、そういう活動が公民館や学校と一緒に連携していけたらいいのではないかと思います。学校には学校評議員制度というものがありますが、それは今、コミュニティ・スクールという形に変わり、地域の方に入ってきて、学校と地域の連携をしていくという取組に変わり始めています。公民館を使わせていただいて、そういう活動をやっていくのも良いのではないのでしょうか。</p>
議長	<p>今、コミュニティ・スクールと地区公民館はどういう風に関係されていますか。</p>
I委員	<p>今年から始めていますので、コミュニティ・スクールはまだパイロット校の4校(園)だけでしか実施できていません。各学校(幼稚園)で開催していると思います。</p>
議長	<p>何度も言いますが、加古川市などはそこに公民館が入っています。やはり公民館はネットワークを持っているので、多くの情報を抱えていると思うと、公民館がメンバーに入っているのは強いと思います。学校は点でしか情報を持っていないですが、公民館は面で情報を持っているので、その情報をうまく活用できると学校も心強いと思います。公民館も学校と繋がれるというのは良いのではないのでしょうか。</p>
部長	<p>先ほどI委員が発言されたように今年からモデル校を4校始めています。学校運営協議会の中に校長先生も入っていただいているような状況をいま、模索しています。</p>
議長	<p>ぜひそこに公民館長が入っていただくといいと思います。</p>
A委員	<p>少し話は変わりますが、どうしても大人、特に高齢者の話になり、あまり子どもの話が出てこないことが気になります。夏休みというのは子どもがクローズアップされて公民館に近づくタイミングだと思います。たまたま今年、公民館で単発の理科実験事業させていただきましたが、そこで講座をすることで終わってしまっており、そこから先へのつながりがないことがもったいないと思います。せっかくそこで地域の子供も達が公民館に来てくれているので、地域と関係のある方が講師として入っていただいて一緒にやることができれば、つながっていくきっかけになるとと思います。そこに中間層の高校生、大学生が助</p>

<p>議長</p>	<p>手という形で入ってくれて、継続することができる、地域の中で大人と子どものつながりが、夏休み限定かもしれませんができると思います。こういったことを続けていくことで、もしかしたら夏休み以外でも、いろいろなところで子ども達と地域がつながることができるのではないのでしょうか。つまり、地域の方にとっても、子どもが見えるきっかけになるのではないかと思います。</p> <p>阪神北地区の研修会で講師をしていただいた上杉先生の教えの中で私が一番感銘を受けたのが、子どもの社会教育というお話でした。放課後子ども教室は学校の延長線上ですが、いわゆる学校外教育です。子どもの社会教育というのは、つまり何かというと地域で子どもを育てるのだという提唱です。評価から全て外れるということです。学校の先生は評価せざるを得ない、そういう仕事です。ただ公民館の方や地域の方々は子どもを評価する必要はないのです。そういった人々の中で子どもたちが学ぶというのが子どもの社会教育です。上杉先生はそれがすごく大切だとおっしゃっています。今、A委員のお話を聞き、人と人との関係の中で叱ったり褒めたりする、評価が必要ない関係性の中での学びはとても大切だと改めて思いました。</p>
<p>I委員</p>	<p>今、中学校は休部デーが週2日、平日1日、休日1日あります。夏休みも必ず1週間は休むように言われています。公民館で部活動の代わりとなるようなクラブを立ち上げてもらうというようなことはできないのでしょうか。もちろん、公民館の職員の方々に部活の代わりになるものを定期的に行っていただくことは、いまの人員ではできないと認識しています。地域のみなさんもお仕事をされているので、難しいというのも認識していますが、公民館で場を提供していただき、定年退職された方々に地域で活躍していただきたいと思います。</p>
<p>議長</p>	<p>そこをうまくコーディネートし、つなげていくことが公民館主事の1番の腕の見せどころなのではないかと思います。</p>
<p>D委員</p>	<p>学校の先生が大学へ社会教育の勉強に行かれていると聞いています。学校と社会教育のつながりは大切だと思います。</p> <p>市民の方々は関心を持てるものがあれば、参加してくださるのではないかと思います。市民の方まで情報を届けられるのかということが1番の問題ではないかと思います。誰かが、コーディネートをしなないといけないと思います。</p>
<p>議長</p>	<p>キーワードはコーディネーションですね。社会教育主事講習の中で言われるのは、社会教育主事はコーディネーターのコーディネートをしろということです。コーディネーターを育てる役割が社会教育主事の仕事だということです。他のご意見はいかがでしょう。</p>
<p>A委員</p>	<p>学校の先生の中で社会教育に関心を持って研修に行こうとする方がおられることがすごいと思います。</p>

審 議 経 過

NO.7

I委員	<p>上司から声がかかって勉強しに行っているのだと思います。要するに、いままですは土日は部活をしていた教師達に対し、これから部活が休みになって空いた時間ができた時はレフネックや公民館講座などに参加し、教師が学びに行くことが大切ということです。ただ、なかなか平日は難しいと思います。</p>
A委員	<p>教師が受ける研修というのは、ほとんどがその技術や個人情報のことです。今は、家庭の問題に関する事など、社会教育に関わる部分についても知っておかないといけない部分はありますが、社会教育的な立場を意識した研修というのは、なかなか無いように思います。結局、今おっしゃったように上司から行ってこいという声掛けが必要で、なかなか自らの意識で社会教育と関わろうというような意識も低いような気がします。もっと自然に、先生たちの研修などで、社会教育に関わりがあればいいと思います。先生たちはただ、知らないのです。関わっていないと絶対分かりません。ですから管理職になって初めて、そういう学びやつながりもあるということに気づくのです。学校でも、夏休みの間に義務付けられている研修はたくさんあるので、社会教育の開かれた門戸に入っていけるような仕組みや仕掛けづくりというのも、これから必要ではないかと思います。先生が社会教育を学んでいただくことで、先ほどお話したような夏休みの間の理科実験教室などの実現につながっていくのではないかと思います。</p>
G委員	<p>教えるということは先生の得意技ですね。</p>
A委員	<p>教え方も良いですからね。</p>
G委員	<p>個人的に、校長先生、教頭先生はわりと地域との連携という部分を意識しておられますが、一般の教師の方々はやはり子どもとPTAが中心で、地域との連携は校長や教頭の仕事というような雰囲気を感じたことがあるのですが、いかがでしょうか。</p>
A委員	<p>私も地域を意識するようになったのは教頭になってからでした。今は違うかもしれませんが、私が在職していた時は、なかなか担任では意識できないというのが現場だったと思います。管理職になって初めて、地域というものを意識し始めると思います。地域や社会教育について意識できるような学びをアプローチしていくこと、その状況を整えていくことをしないと、なかなか一般の先生が学校教育と社会教育の両方を学ぶというのは、今のままでは難しいと思います。</p>
議長	<p>川西市は教育長自らが、社会教育に関心を持っておられ、素晴らしいと感じています。ぜひ、率先してやっていただきたいですね。ほかにご意見いかがでしょうか。</p>

<p>B委員</p>	<p>A委員の意見を聞き、講座が開催された後、そのまま終わってしまうのではなく、次につなげるということが大事だと思いました。今まで学校の先生というのは一方的に教えるということが多かったように感じていますが、これからは自分で考える力を身につけることが大切と言われていまして、講座が終わった後に、もっと学びたい子はもう一度集まるというような継続性を持たせることや、教わったことに対して振り返りの意見交換をする場を持つことが大切だと思います。自分がこんな風を感じたと意見が出せる場があれば、考えを深めることもできますし、おもしろかったと実感する経験ができると思います。今後、コミュニティ・スクールが始まり、先生方にも同じことを感じてもらえるような場がどんどんつながっていくと感じています。</p> <p>つまり、一方向に教えるだけではなく、子どもが自分から発信できる場や気持ちを聞いてもらえる場ができたらいいと話を聞きながら思いました。</p>
<p>F委員</p>	<p>阪神北地区の研修会の際に伺った社会教育委員の方の意見ですが、今さまざまな社会教育活動が当たり障りのないもので終わっていて、豊かな人だけへの働きかけになってしまっていないのかとお話されたことが頭から離れません。つながるということが堅苦しいものではなく、もっと敷居を低くし、市民一人ひとりの方が何を求めているのか、すり合わせ、もっともっと市民の方が気軽に公民館に行けるようなきっかけづくりを見つけて行けたと思いました。</p>
<p>議長</p>	<p>公民館が足を運んでいただかなくとも、何かの関係でつながっているという安心感を持つような拠点になれば良いのではないかと思います。サークルに入れない方には、引きこもっておられる方や孤立しておられる高齢者の方もおられると思います。</p>
<p>C委員</p>	<p>私は人が好きで、ずっと人と触れ合ってきて今もいろいろなことをしていますが、人と人との繋がりの中でいろいろなことに気づかされるということがずっと続いています。</p> <p>北陵の地域の子どもたちに対しては夏休み中も公民館の部屋を借りて、こども大学などの事業を実施しているので、どちらかというと地域と子ども達が触れ合っている方ではないかと思っています。私自身も、毎年凧作りと凧あげのイベントを担当しており、いろいろなことに気づかされています。</p> <p>凧あげは親子でやっていただくイベントですが、その中でもいろいろな人間模様というのが見えます。公民館長も出てきて一緒にあげたりしてくださったり、交流があるので、公民館に対して自分たちができることはなにかと考えます。私は凧あげしかできないですが、地域には他にも人材がいてくださるので、公民館に寄り添うような人が多くおられれば、もっと充実して活動していけるのではないかと思います。</p>
<p>議長</p>	<p>公民館長はいかがですか。</p>

<p>事務局</p>	<p>確かに他市と比較すると川西市には各中学校区に公民館があるので、気軽に行きやすい施設だと思えます。ただ、たまに駐車場がないなどの機能的な面でご意見をいただきます。昔は地域にあるのだから歩いてくるという話だったのが、今は車じゃないと行けないお年寄りの方や足の悪い方がおられ、車を置くところがないというような機能的な問題が多く言われるようになっていきます。</p> <p>また、人をつなぐというお話については、ものすごくよく分かるのですが、週に3日、4日しか来ていない職員だけでやっている状況では、無理ですと言いたくなります。いまの公民館には、週5日いる職員がいるところが3つ、4つしかありません。また、コーディネートのできる力量の人がいるかというところがかなり苦しいのではないかと思います。こちらとしても、公民館の役割として求められているコーディネート機能の役割を果たさないといけないということは分かっています。分かっていますが、どうやってしたらいいのかと悩んでいますし、どうしたらいいのかお聞きしたいです。行政センター機能も持っていますし、やらなければならないことが多くありすぎ、結局今は毎日の貸館業務をきちんと行う、行政センター機能としての役割を果たすという2つにパワーを費やしてしまっていて、コーディネート機能は果たせていない、というのが現状です。</p>
<p>議長</p>	<p>ここでの議論はこれをしなさいというものではなく、できたらいいということです。ですから今、館長がおっしゃってくださったように、公民館が独立館として各中学校区あり、学校とも連携しやすい状況にあるというのは川西市の強みであると思えます。また行政センターが併設されており、公民館に用事のない市民さんも来てくれています。駐車場がないという問題はあるかと思えますが、他市と比較すると条件はいいと思えます。</p> <p>これからの社会は、流動人口が増えるとともに孤立する人も増えてきていくことが見込まれています。そんな中で、公民館はそれだけ人々をつなぎ、住みやすい、暮らしやすいまちをみんなで作っていく役割を果たせるかということ、それが公民館の生命線だと思います。そのために貸館の機能であったり、団体の育成であったり、サークルの育成であったり、もしくは新しく来て欲しい世代層に対する仕掛け作りをしていければいいのではないのでしょうか。ターゲットを絞って講座を打ち出していただき、次につないでいくということが仕組み作りとして大事ではないのでしょうか。部長、ご意見いかがですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>私もあまり欲張ってもしんどいかなと思います。高齢者も大事にしないといけな、子どもの居場所も考えないといけななど、利用者は時間帯でずれるというのも確かにあると思えますが、先ほど館長がお話していた通りマンパワーとしてそれだけ行政が公民館にできる体制を揃えているかといわれると、厳しいところもあります。</p> <p>本日お話を伺い、場所、仕掛けというキーワードから、職員を手助けしてくれるサポーターのような方々が地域に集まった組織が生まれるためにはどうしたらいいかと考えていました。</p>

審 議 経 過

NO. 10

	<p>また子ども達の教育についても、今後はより意識的に同年齢で組織された中で子ども達だけで学ぶのではなく、不特定多数の地域の方々がいる中で育てていかないといけないという流れになってきています。公民館の役割も今まで以上に増えてくるでしょうし、本日コミュニティ・スクールの話も出てきていましたが、どこまでを求めていくか、またそれにシフトする際の予算の検討など課題は多いかと思えます。</p>
議長	<p>川西市のように地区に公民館があるのは珍しいです。他の市はなかなか無いです。</p>
C委員	<p>地区に公民館がないということは考えられません。地区ごとに公民館はなければだめです。</p>
議長	<p>貴重な財産としてぜひ、活用していただきたいと思えます。それでは、本日の議事はここまでにさせていただきたいと思えます。次に、5の「その他」です。委員さんや事務局の方で、何かございませんか。</p>
事務局	<p>(公 民 館 後 期 講 座 説 明)</p>
事務局	<p>ありがとうございました。次回社会教育委員の会にて、本日までの2年間で議論いただいた内容をまとめた資料を提示したいと思えます。11月の社会教育委員の会では、その資料をご確認いただき、内容について意見交換をお願いいたします。最後に、次回の第5回社会教育委員の会の開催についてです。11月15日（金）午前10時から川西市役所 503会議室にて開催をお願いしたいと思います。どうぞ、よろしくお願いたします。以上です。</p>
議長	<p>それでは、これもちまして、令和元年度 第4回 川西市社会教育委員の会を閉会いたします。ありがとうございました。</p>